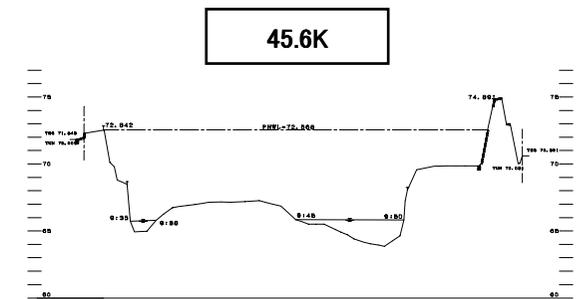
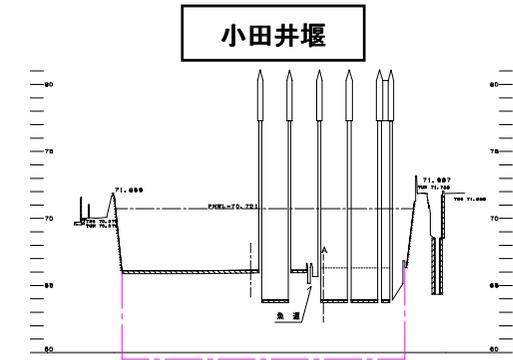
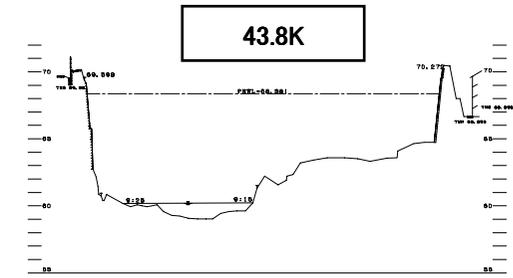


4-3小田狭窄部付近の状況

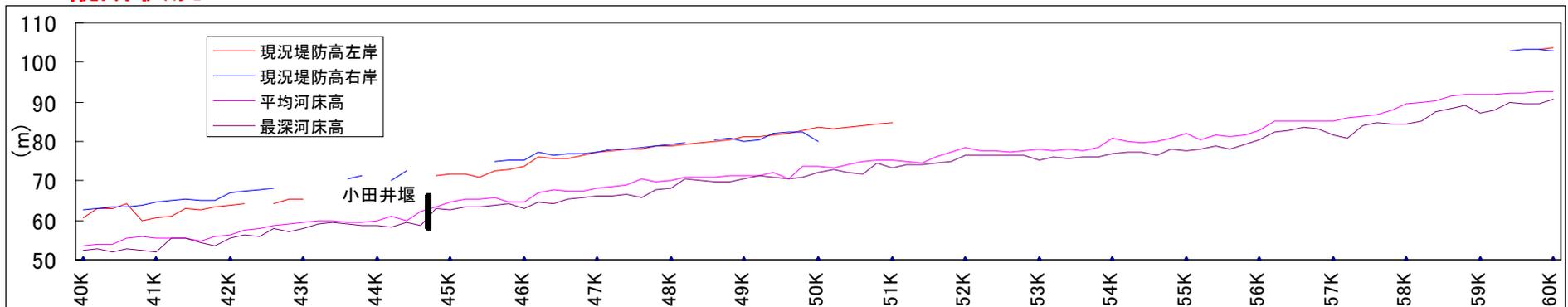
▼小田井堰周辺の状況



▼横断状況



▼縦断状況



4-4小田狭窄部周辺の環境

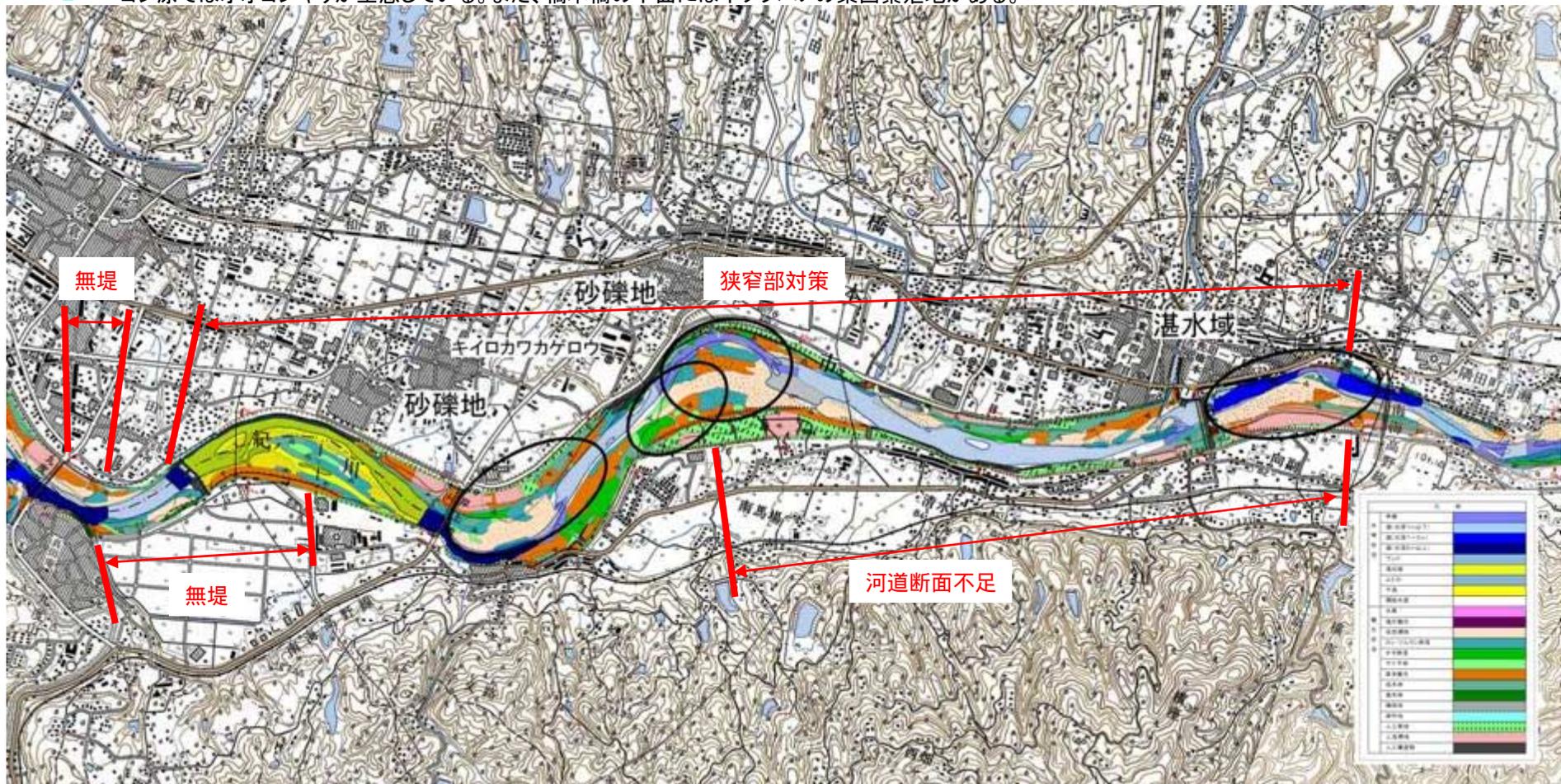
狭窄部

【河道内について】

- 河床は、堰下流側は礫、上流側は石となっている。小田井堰下流部は、大きく蛇行して早瀬とM型の堰が交互に見られる。また、ワンドも見られ、生物の重要な生息地となっているものと考えられる。

【河川敷について】

- 46km付近までは、右岸側はグラウンドなどに利用されているほか護岸となっている。
- 右岸側の46kmより上流部は砂礫地が広がっており、カワラサイコやコチドリなどの生育・生息環境となっていることが考えられた。
- 掘削区間の下流側では、タコノアシ(湿地)やカワラサイコ(砂礫地)などの注目すべき植物が確認されている。また、砂礫地はコチドリの生息地となっている可能性もある。
- ヨシ原ではオオヨシキリが生息している。また、橋本橋の下面にはイワツバメの集団繁殖地がある。



4-5小田狭窄部周辺の環境

狭窄部



4-6小田井堰下流付近



↑ ①小田井堰下流付近

②小田井堰下流付近 ↓

